



## 目 次

1 章 深井地震観測 .....	浜田和郎	1
1 はじめに.....		1
2 地中地震観測のメリット.....		2
3 地震予知計画の中の深井地震観測.....		4
4 深井観測施設の構成.....		6
5 深井観測施設の性能.....		10
6 センサーとセンサー・ベッセル.....		11
7 深井の構造と地学的環境.....		16
8 深井観測による地震の検知能力.....		22
9 深井によるバックグラウンド・ノイズの減衰と S/N の増加 .....		25
10 東京湾北部の前兆的群発地震活動.....		29
文 献.....		33
2 章 アメリカの地震観測 .....	阿部勝征	35
1 はじめに.....		35
2 過去の被害地震.....		36
3 カリフォルニアの地震観測.....		52
4 水の注入と地震.....		64
文 献.....		69

3 章 地震波速度の変化 .....	宇津徳治	71
1 まえがき .....		71
2 地震波速度変化の検出に用いられる方法 .....		72
3 地震波速度変化の報告 .....		75
4 地震波速度変化の性質 .....		82
5 地震波速度変化の検討 .....		84
文 献 .....		90
4 章 地殻変動と地震 .....	檀原 肇	99
1 序 論 .....		100
1.1 地殻変動 .....		100
1.2 正常な地殻変動 .....		101
1.3 地震前兆としての地殻変動 .....		103
1.4 地殻変動と地震予知 .....		107
2 破壊域の予知と地震活動空白域 .....		108
3 マグニチュードの予知 .....		113
4 発生時の予知 .....		116
5 水準測量の精度 .....		118
5.1 地震前の異常な地殻変動 .....		120
5.2 群発地震中の異常隆起 .....		123
5.3 地震に結びつかない異常隆起 .....		126
5.4 地殻の上下変動とプレートテクトニクス .....		128
6 檜潮による上下変動 .....		132
6.1 年平均海面 .....		132
6.2 月平均および日平均海面 .....		134
7 三角測量による水平変動 .....		137
7.1 不動点および不動方位の仮定 .....		138
7.2 水平ひずみ .....		142
8 基線観測による水平ひずみ .....		147
8.1 菱形基線 .....		147

8.2 四辺形基線網	148
8.3 放射形基線網	151
文 献	154
5章 精密測地網測量	藤田尚美 157
1 測地測量の基礎	158
1.1 楕円体座標系の設定	158
1.2 楕円体面への投影	160
1.3 楕円体面からの高さ	162
2 精密測地網測量の概要	166
2.1 一次基準点測量	166
2.2 一等水準測量	170
3 測地網の設定	171
3.1 網 平 均 計 算	171
3.2 測 量 の 精 度	174
3.3 測地網の位置の指定	176
4 精密測地網測量の成果	179
文 献	182
6章 断層 モ デ ル	安藤雅孝 183
1 地震断層と地殻変動	183
2 断層 モ デ ル	184
2.1 半無限媒質中のくい違い	184
2.2 2次元断層モデル	187
3 実際に近い断層モデル	189
3.1 “実際に近い”くい違い分布	190
3.2 “実際に近い”地質構造	193
3.3 モデルの近似——まとめ	195
4 断層の力学モデル	197
5 断層モデルの例	199

5.1 サンアンドreas断層.....	199
5.2 アラスカ地震.....	205
5.3 チリ地震.....	209
5.4 関東地震.....	211
5.5 南海道地震.....	215
6 地震前・地震後の変動 .....	218
6.1 海溝系地震.....	218
6.2 内陸地震.....	222
7 地震断層と歪変化 .....	223
7.1 伸縮計、傾斜計記録上のとび.....	224
7.2 他の地震による剪断歪変化.....	225
7.3 自然の体積歪計—マグマ溜り.....	226
7.4 簡単な体積歪計—水位.....	226
文 献 .....	228
 7章 体積歪計.....	末廣重二...235
1 地殻変動連続観測の新しい面を聞く .....	235
1.1 空間的分布について.....	235
1.2 時間的分解能について.....	236
1.3 感度について.....	236
1.4 安定性について.....	236
1.5 処理システム.....	236
2 埋込式体積歪計 .....	237
2.1 目 的.....	237
2.2 測器の原理.....	237
2.3 変換器.....	241
2.4 観測井孔底における変換器の固定方法.....	242
2.5 積算値の確認と大動作域の確保.....	243
2.6 変換部の安定性.....	244
2.7 強震に対する安定性.....	245

2.8 短期的安定性	245
2.9 長期的安定性	245
2.10 石英管式伸縮計との計測上の相違点	246
3 観測システム	247
3.1 観測網	247
3.2 データ伝送	247
3.3 中央局	250
3.4 環境要素	250
4 観測結果	251
4.1 永年変化(1)	251
4.2 永年変化(2)	256
4.3 気圧の影響	256
4.4 地球潮汐の影響	262
4.5 降水の影響	263
4.6 地下水位の影響	265
4.7 地下水温の変化	266
4.8 1点観測の空間的代表性	266
4.9 歪計による地震の記録	267
4.10 地震時の歪ステップ	270
4.11 地震を伴わない特異変化	273
5 地震予知へ	276
5.1 判定会	276
5.2 地震と特異変化	276
5.3 地震と歪の特異現象の関係の調査	283
6 結び	285
文 献	286
8章 地球潮汐と地震	田中寅夫 287
1 地球潮汐	287
2 地球潮汐と地震の発生	288

2.1 地球潮汐の引き金作用の研究方法	289
2.2 群発型の地震と地球潮汐	290
2.3 日本および世界各地の地震活動と地球潮汐	294
2.4 月震と起潮力	297
3 地球潮汐の振幅の時間的変化と地震予知	298
3.1 横峰における地球潮汐傾斜の振幅変化	298
3.2 ダイレタンシー・モデルと地球潮汐	299
3.3 地球潮汐の振幅変化の観測例	302
3.4 地球潮汐と地震予知	304
文 献	305
 9章 日本の地震予知計画	 鈴木次郎 309
1 はじめに	309
2 濃尾地震以前	309
3 濃尾地震から関東地震まで	311
4 関東地震から終戦まで	312
5 終戦からブループリントまで	314
6 ブループリントの作成	315
7 ブループリントの内容	319
8 ブループリント第1次建議から松代地震まで	331
9 松代地震から第2次計画まで	332
10 第2次計画	333
11 地震予知連絡会の発足	335
12 地域指定	337
13 第3次計画	340
14 官庁側の整備	341
15 第3次計画の見直し	344
16 大規模地震対策特別措置法	347
17 第4次計画	348
18 おわりに	351

文 献 .....	353
10章 アメリカの地震予知研究 .....	金森博雄 355
1 歴 史 .....	355
2 組織と予算 .....	357
3 主な結果 .....	359
3.1 連続監視 .....	360
3.1.1 地震観測 .....	360
3.1.2 測地測量 .....	363
3.1.3 地震波速度 .....	368
3.1.4 傾斜計観測 .....	371
3.1.5 地磁気観測 .....	372
3.1.6 電気伝導度観測 .....	372
3.1.7 ラドン、地下水などの連続観測 .....	372
3.1.8 重力測量 .....	372
3.2 前駆現象に関する理論的・実験的研究 .....	373
3.2.1 ダイラタンシーモデル .....	373
3.2.2 他のモデル .....	374
3.3 サイスミックギャップ .....	375
3.4 動物の異常活動 .....	377
3.5 社会学的研究 .....	378
3.6 強震動の研究 .....	378
3.7 活断層の地質学的研究 .....	379
4 地震予知研究の最近の傾向 .....	380
4.1 一般的な考え方 .....	380
4.2 長期予報 .....	381
4.3 観測強化地域 .....	381
4.4 最近の発展 .....	382
文 献 .....	382

11章 ソ連の地震予知計画 .....	力武常次	383
1 はじめに .....		383
2 中央アジアにおける地震予知 .....		384
2.1 測地学的方法による成果 .....		387
2.2 地殻変動連続観測による成果 .....		387
2.3 地震学的方法による成果 .....		389
2.4 地球電磁気学的方法による成果 .....		394
2.5 地球化学的方法による成果 .....		396
2.6 多要素による総合的研究成果 .....		398
3 カムチャッカ——千島における地震予知 .....		405
4 基礎的問題 .....		406
5 おわりに .....		407
文 献 .....		407
12章 地震予知の未来像 .....	力武常次	411
1 はじめに .....		411
2 目標は何か .....		413
3 $M 7$ の完全予知をめざして .....		418
3.1 観測の広がりと密度 .....		419
3.2 地震先行現象の観測における問題点 .....		422
3.2.1 測地測量による地殻変動 .....		423
3.2.2 検潮 .....		424
3.2.3 地殻変動連続観測 .....		424
3.2.4 地震活動 .....		425
3.2.5 地震波速度 .....		426
3.2.6 前震、異常地震活動、第2種空白域、 $b$ 値、震源移動および発震メカニズム .....		426
3.2.7 地磁気・地電流 .....		427
3.2.8 重力・地球潮汐 .....		429
3.2.9 地殻ストレス .....		429

3.2.10 地下水 .....	429
3.2.11 地球化学的先行現象 .....	429
3.2.12 宏観異常 .....	430
3.3 地震予知の基礎にかかわる問題点 .....	430
3.3.1 岩石破壊実験 .....	430
3.3.2 地殻構造調査 .....	430
3.3.3 地殻活構造 .....	431
3.3.4 テスト・フィールド .....	431
3.3.5 歴史地震学 .....	431
3.3.6 地震予知理論 .....	431
3.4 地震予知のための新技術 .....	432
4 地震予知の体制・予算・マンパワー .....	433
4.1 望ましい体制 .....	433
4.2 予算とマンパワー .....	435
5 民間地震予知の組織化 .....	436
6 国際協力 .....	437
7 社会科学としての地震予知 .....	438
8 地震予知に関する知識普及 .....	438
9 おわりに .....	438
文 献 .....	439